

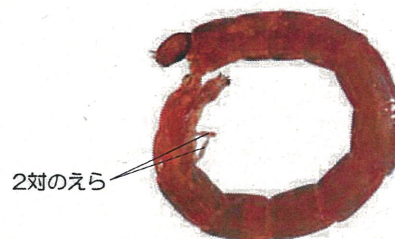
とてもきたない水(水質階級Ⅳ)の指標生物

ユスリカ類

腹の後ろの方の節に2対(4本)または1対(2本)の棒状のえらがある。体の色は赤いものが多い。流れのあるところに泥などでチューブ状の巣をつくって生活している。川ではセスジユスリカやハイイロユスリカ、クロユスリカが多い。

- まちがえやすい生物

ユスリカ類でも、腹の下の方の節にえらがいないものは指標としない。



ユスリカ類

チョウバエ類

大きさは8mmくらいで、細長く、足はない。下水、排水溝などにすんでいる。尾に長い突起(呼吸管)がある。



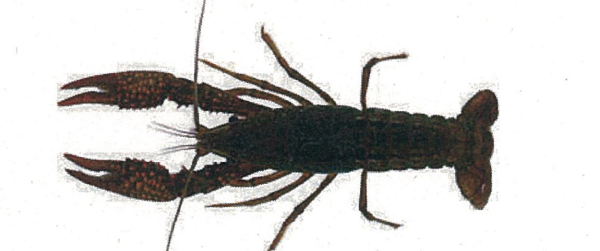
チョウバエ類

アメリカザリガニ

流れがゆるやかで浅い泥の多い川底にすんでいる。北アメリカから入ってきた外来種。

- まちがえやすい生物

北海道や東北地方のきれいな水には、在来のニホンザリガニがいる。また、近年分布を広げている外来種のウチダザリガニは、ハサミの付け根が白い。

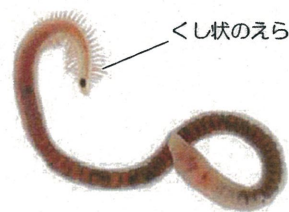


アメリカザリガニ

エラミミズ

大きさは最大で4cmくらいになる。ピンク～赤色の太い糸状でちぎれやすく、頭ははっきりしない。体の後方にたくさんのえらがある。

頭を泥の中に入れ、尾を水中に出してゆすり、水の流れをつくって呼吸している。水中の酸素量が少なくても生活できる。



エラミミズ

サカマキガイ

殻のとがった方を上にして見ると、口が左側についているのが特徴(左巻き)。流れのないところでは水面に逆さ向きになっていることがある。

- まちがえやすい生物

モノアラガイは右側に口がくる(右巻き)。



サカマキガイ

モノアラガイ類*